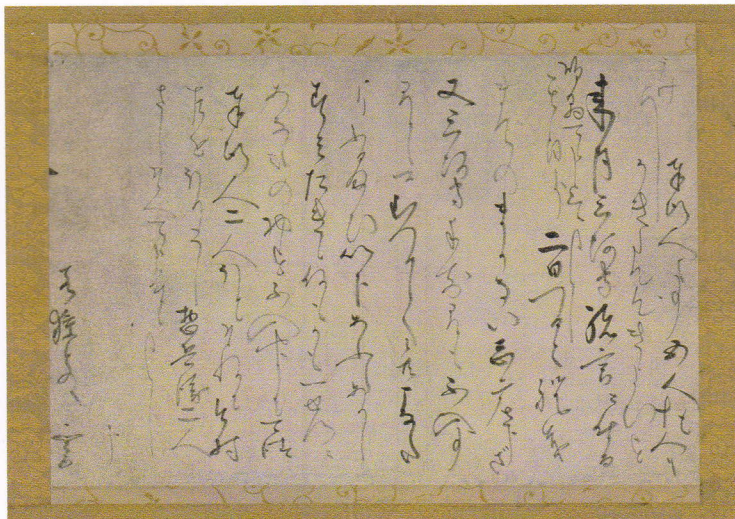


伊達政宗 消息
祝言の事 若狭宛

縦 三三・四種
横 五〇・四種
古筆学研究所極

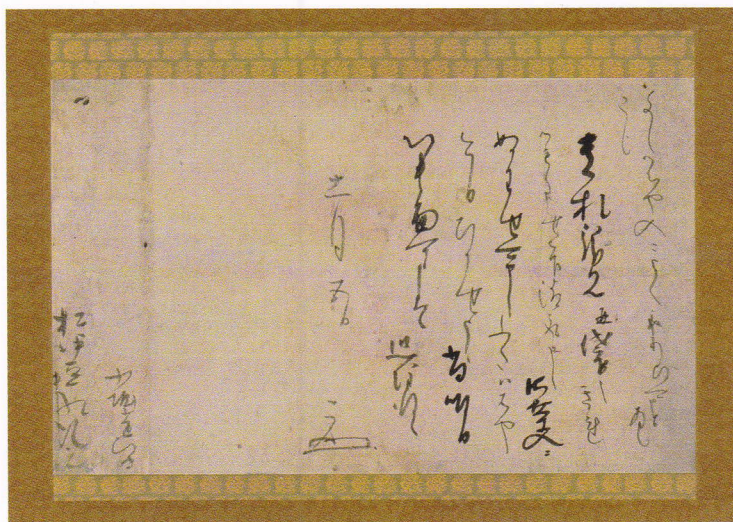


2

うけ 奉行人之事五人も十人も
候へく候 かきたて候てきよひを
来月三河守祝言ご付而
明朝可申上候 かしく
其日より二日間之祝儀
まてのまかない志摩さうざ
又三河守手前にも不入事
にて候間むつかしく候共こなた
よりふるまひ以下あふらあかし
すみたき、何もかも一せいに
あなたの物を不入やうに可仕候
奉行人二人ほとそれに今村
左近ほりこし惣兵衛二人
さしそへ可申付候 かしく
より
若狭とのへ 正宗

小堀遠州 消息
十一月五日付 松平伊豆宛

縦 二八・〇種
横 四五・二種
小堀宗慶箱



3

尚、御ちや入二よく取りあひ可申と
拜候
かしく
貴札拝見並袋之きれ
御もたせ被下請取申候 御茶人二
ぬわせ可申候 ふたはや
今日ひかせ申候 尚明日
以貴面可申上候 恐惶謹言
十一月五日 宗甫 花押
松 伊豆殿 小堀遠江守
貴報